

4年 学年の取り組み

4年生での資質能力育成表より

【実態・課題】

- ・自分の考えを持ち,相手に伝えることができる。
- ・自分の考えを持つことができるが,相手の意見を聞き入れることが難しい。
- ・勝負ごとに負けず嫌いな児童が多いがプライドが高く,自分の負けを受け入れることが難しい。

4年生での表現力を高めるために

【学年仮説】

- ・交流活動を通して、相手の様々な意見や考えに触れて、話し合う楽しさを味わい、主体性を高めるとともに、責任感に繋がっていく。また、定期的に振り返ったり見直したりすることで、話し合いの必要性を感じさせる。

→朝の帯時間にテーマごとに作文を作成し、時間がきたらペアで読み合い、コメントを書く機会を多くもたせる。



4年生での表現力を高めるために



【学年仮説】

- ・授業を中心に意見を伝え合う場面を意図的に設定し、受容的な雰囲気を作ることで、児童が安心して発言できるようになる。
- 外国語活動のアクティビティでできるだけ多くの人とコミュニケーション活動したり,それぞれの学習の場面で話し合い活動の機会を多くもたせる。
- 算数科などでは,早く終わった児童が教師役として教える側になる。

4年生での表現力を高めるために

本時の意図

- ・自分と意見が違ってても否定せずに、まずは受け止め、話し合いで解決できるようにする。

「新聞を作ろう」の単元では、割り付けを考える際に、自分のとっておきの記事を持ち寄り、交流し、どの記事をトップにするのか考える。自分の気持ちではなく、読者の立場にたって考え、どの記事が一番トップ記事にふさわしいのかを決めるところが見どころである。

